１１月の生活目標　「みんなで使うものを大切にしよう」

ゆめ に向かって！

大阪市立豊新小学校
校長室便り⑤
令和８年１１月２日

１１月１日は豊新小学校の５３回目の創立記念日でした。さて、先週あたりから急に寒くなってきました。体調管理には十分に気を付けてください。

南紀白浜への修学旅行（１０/８・９）



先月、６年生が一泊二日で修学旅行に行ってきました。

１日目は梅干し工場の見学と梅ジュース作り体験。各自で思い思いに氷砂糖や色鮮やかな金平糖などを使って梅ジュースを作りました。１０日間の熟成期間も終わり、きっとおいしいジュースにできあがっているはず。手作りジュースのお味はいかがでしたか。昼食はバイキング料理。各自で好きな料理をいっぱい食べ、昼食後は白浜水族館でワークシートを使ってのお勉強。他の水族館とは少し違う生き物が多く展示されていて、じっくりと観察している人もいました。次に三段壁の観光や記念写真を撮った後、白良浜海岸へ。みんなで楽しく浜遊びをしました。その後、ホテルにチェックイン。とっても素敵なホテルで豪華な食事と温泉や足湯につかってのんびりと過ごしました。







翌日は楽しみにしていた「アドベンチャーワールド」でのフリータイム。ケニア号でサファリパークをまわったり、イルカショーを観たりみんな楽しそうでした。また、お買いものでは、家族やお世話になっている方へのお土産を一生懸命に探していました。きっと素敵な思い出になったことだと思います。

そして、この修学旅行ではうれしいこともありました。ホテルの支配人の方から「礼儀正しい学校ですね。私たち従業員にあいさつしてくださり、気持ちがいいです」と言われました。また、白良浜でも海岸の歩道を歩いておられた老夫婦の方から「どこから来られた学校ですか。きちんとしている子どもたちですね」とほめてくださいました。



礼儀やマナーは日頃から意識して行動しないとできるものではありません。



「こんにちは」「お世話になります」のあいさつ。みんなが使う海岸や歩道などでマナーを守ること。たったそれだけでお互いが気持ちよくなります。６年生の皆さん、かっこいいですよ！

これからも６年生が持っている素晴らしい力をどんどん発揮して、豊新小学校の良き手本となり、さらに素敵な学校にしてくれることを期待しています。



最後に、保護者の方はもちろん、多くの人の支援や仲間の協力、お世話になった方への感謝の気持ちを忘れずに。

（活動中の写真はホームページに多数載せています。ご覧ください）

「非認知能力」と「道徳」

今年度、本校は大阪市から「非認知能力調査モデル校」に指定されました。学習指導要領が定める育成を目指す資質・能力の３つの柱、①知識及び技能、②思考力・判断力・表現力など、③学びに向かう力・人間性などのうち、③の学びに向かう力・人間性等にあたるのが「非認知能力」です。

では、具体的にどのような能力が非認知能力なのかといえば、目標に向かって粘り強くやり抜く力や他者と協働する力、感情をコントロールする力などいろんな力があります。知識・技能である認知能力と違い、社会を生き抜くために必要な力が非認知能力であり、大阪市でも「学びの土台になる力」と位置付け、非常に重視されるようになってきました。



本校では昨年度から、夢や目標をもって最後まであきらめない心を育てることから自己肯定感を育成し、あいさつからコミュニケーション力や思いやり、相互理解を目指す取り組みを行っています。

「非認知能力」＝「学びの土台となる力」＝「未来に向かう力」

そして、さらにこの力を伸ばしていくために今年度から「道徳」教育の研究をしていきます。自己を見つめ、よりよく生きようとする力を育てる教科が「道徳」です。そのため、文部科学省の道徳教育推進拠点校の指定も受け、研究を進めています。

豊新小学校の子どもたちがいろんな力を身につけ、未来に生きる力になってくれることを願っています。

（校長　尾﨑士郎）